

# 地域と共にある学校づくり

発行：長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課

今回は、小布施子ども教室の「通学合宿」、中信教育事務所開催「学社連携・協働フォーラム」、H31年度生涯学習推進センター講座案内、地域学校協働活動についてを紹介します。

## 小布施子ども教室「通学合宿」の取組：小布施町教育委員会

「小布施子ども教室」(放課後の子どもの学びの場として、学習・体験プログラムを実施)では、地域のコミュニティセンターに宿泊し、小学校へ通う「通学合宿」(H26年～)を行っています。(社会教育委員を中心にした実行委員会が企画・運営)

【H30年度】

○実施日 2月17日(日)～22日(金)(5泊6日)

○参加児童 子ども教室に通う4年生から6年生(24名)

○スタッフ

社会教育委員、地域団体の方、地域コーディネーター、地域ボランティア、子ども教室の卒業生(中学生・高校生・大学生)

※一日平均10名ほどで見守り。

※子どもの健康状態の連絡等、学校と連携。

○内容

1日目 目標確認、食材買い出し。(目標・献立は子ども達で決定)

2日目～5日目(登校前) 起床(6:30)※食事当番5:30起床  
(下校後) 宿題 夕食の準備・片付け 食事 地域の温泉入浴  
一日の話し合い 自由時間 就寝(22:00)

6日目(最終日)「親への感謝の気持ちを伝える会」(親と再会)



下校後、宿題に取り組む



スタッフと一緒に夕食作り

## 子ども・地域が育つ

楽しいことは何か、ひとりの子どもに尋ねると、「近くの温泉に入ることとみんなで寝ること」と笑顔で答えてくれました。当番は朝の食事当番だけです。当番・係がなくても子ども達は、食事の準備、片付け、部屋の掃除など、一人一人が考え、行動していました。小布施子ども教室の1年間の活動の中で、自分で考え動くこと、仲間と協力し合うことを大事にしてきた子どもたちとスタッフの取組の成果といえます。

子どもたちの様子について、スタッフの一人である社会教育委員さんに尋ねると、「子どもたちで、どうしたらいいか話し合って解決します。いつもすごいって思います。」と、子どもの成長を語って下さいました。また、「通学合宿で、私たち大人のつながりもできました。」と、地域づくりにもつながる取組であることを教えて下さいました。



7:00 朝食 (全員で準備・片付け)

## 「学社連携・協働フォーラム」の開催：中信教育事務所

教育事務所主催による、地域ぐるみで子どもを育てることをテーマとした「フォーラム」が各地で開催（4箇所）されました。ここでは、中信教育事務所が開催した「学社連携・協働フォーラム」を紹介します。（テーマ：「学校を核とした地域コミュニティをめざして」  
日時：H30.12.1（土）12：50～16：10 場所：長野県総合教育センター講堂 280名参加）

### 事例紹介：中信管内の取組

塩尻市辰野町中学校組合立両小野中学校の実践では、「地域貢献型生徒会」を立ち上げ、生徒が主体的に地域課題に取り組んでいる様子の紹介がありました。また、木曾町立日義小学校の実践では、児童が自然に触れて、遊び、学べる「わんぱく村」の活動の紹介がありました。どちらの学校も、学校と地域が目標を共有し取り組むことで、児童・生徒の豊かな学びや育ちにつなげていました。

### 講演：「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ

文部科学省総合教育政策局地域学習推進課地域学校協働活動推進室コミュニティ・スクール係長 相田 康弘 氏より講演がありました。



コミュニティスクール（CS）の目的は、「子どもの明日の笑顔をつくること、全ての人々の笑顔をつくること」です。

10年、20年、30年後を見据え、目的・目標を話し合い、その後に手段を話し合しましょう。

カーリングは、「そだね。」と合意形成をして進めます。CSも「学校よし」「家庭よし」「地域よし」の思いを共有して進めましょう。

同じ目的・目標のために対等な立場で協力し共に働くことが「協働」です。活動の後は、どういう姿・どういう内容を評価項目とするか明確にして評価を行うことが大切です。

### グループワーク：テーマについて話し合う

講演会後は、相田氏が司会を務め、グループワークを行いました。付箋紙を用い「30年後に大事にしたい学校・子ども・地域の姿」などのテーマについて話し合いました。

グループワークを通して、学校・家庭・地域のそれぞれの視点から「合意形成」を図ることや「評価」をして次につなげる必要性等について学ぶことができました。



—参加者の感想—

- 将来のビジョンを学校・家庭・地域でベクトルを同じ方向へ向かわせることから始めたい。（学校関係者）
- 予測がつかない未来を生きる子どもたちのために、親として何が出来るか考えていきたい。（PTA関係者）
- 学校・家庭・地域が、みんなで子育てをすることは、まさに、地域共生社会につながる。（地域関係者）

# 平成31年度長野県生涯学習推進センター研修講座のご案内



来年度開催予定の講座の中から、学校支援・子ども支援に関わるあらゆる方々に、ぜひ役立てていただきたい講座を3つご案内します。

## 地域の教育力向上研修「発達障がいの理解と援助」4月18日(木)

信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 教授 本田 秀夫 氏

来年度も、発達障がいの専門家として国際的に有名な本田先生をお招きし、発達障がいの中で最も多い自閉スペクトラム症を中心に、特性や支援方法について学びます。



### <今年度受講者の感想>

- 登校しぶりはスタートではないということを知り、衝撃でした。そこまで我慢してがんばっていたんだと思うと考えさせられました。
- あまり話をしない我が子が、どのように感じているのか、考えているのかということ伝えていただきとてもありがたかったです。

### 新講座

## 地域の教育力向上研修「長野県の子どもの自殺の現状と課題

～私たちにできること～ 8月29日(木)

NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表 清水 康之 氏

自殺者数は全国で年間2万人以上、県内でも300人を超えています。特に県内では未成年の自殺が全国的に高い水準にあり、子ども・若者の自殺対策が喫緊の課題となっています。2009年から2011年まで「自殺対策緊急戦略チーム」のメンバーとして内閣府参与を務められ、NHKのEテレ「ハートネットTV」をはじめニュース番組等で提言もされている清水先生を迎え、子ども・若者の自殺実態について理解を深めるとともに、県内の支援関係者間の連携の可能性について考えます。

## 地域の教育力向上研修「子どものトラウマの理解と支援」9月13日(金)

こころとからだ・光の花クリニック 院長 白川 美也子 氏

感情がコントロールできない、リストカットがやめられない、大人への不信感を表す、性的行動に走る。子どもたちのこのような行動の原因は、虐待・暴力の目撃・いじめなどの被害にあるのかもしれませんが。今年度もトラウマ治療の第一人者の白川先生をお招きし困難を抱える子どもたちの支援方法をお聞きします。

### <今年度受講者の感想>

- 詳細を聞かずに気持ちを聞くということが驚きでした。学校で関わる子ども達の気持ちを受けとめ、最優先に考えて支援していきたいと思いました。
- DVなどによるトラウマが長く影響し連鎖していくということを考えると、子どものうちに早い段階で支援していく必要性、大切さを感じました。



(県生涯学習推進センター 専門主事 川上 直子)

# 地域学校協働活動について—信州型CSのしくみを活かして—

## 子どもの居場所づくり

学校と地域が協働して子どもを育む様々な活動である「地域学校協働活動」を教育委員会が整備していくことが求められています。

地域学校協働活動の一つとして、国庫補助事業の「放課後子ども教室」（放課後等の児童・生徒の豊かな学びを支援）や「地域未来塾」（放課後等の中学生の学習支援）などがあります。また、CSの取組として、休日や長期休業中に学習支援や体験プログラムを実施したり、子ども食堂と連携したりして、子どもの居場所づくりを進めている自治体や学校もみられるようになりました。

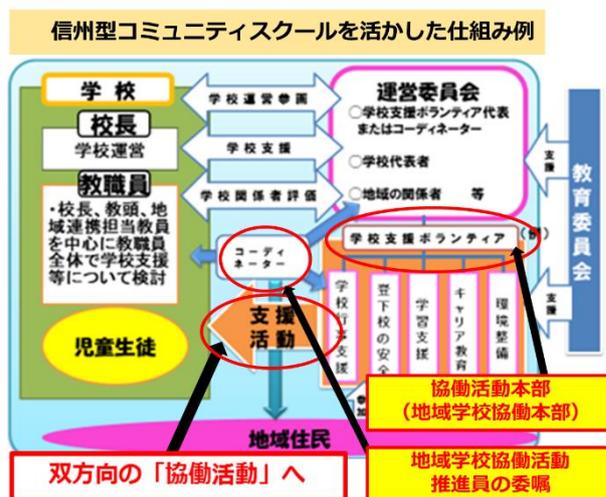


「子ども食堂」と連携した夏休みの活動

## 地域学校協働活動を進めるために

地域学校協働活動の体制を整備するために、「地域学校協働本部」を設置することが有効とされています。本部の設置については、ボランティア代表者をおき、協働活動本部（地域学校協働本部）とすることも考えられます。また、学校支援コーディネーターを教育委員会が「地域学校協働活動推進員」として委嘱し、学校支援や子どもの居場所について総合的にコーディネートしていくことも考えられます。

ただ、信州型CSを立ち上げたばかりの学校もありますので、まずは、信州型CSの取組を充実させていくことが大切です。



## 持続可能な「地域と共にある学校」を目指して

信州型CSの取組を持続可能なものとするためには、「できることを、できるときに、できる人が取組む」ことや「学校も地域もCSの良さを感じる（ウィンウィンの関係）」ことが大事だと考えています。

なお、国のコミュニティ・スクール（国CS）の設置努力義務化に対しては、市町村教育委員会に対して、情報提供等の支援を行います。また、信州型CSの取組を充実させ、実践していくことは、国CSへの円滑かつ効果的な移行、実施にもつながると考えることから、引き続き、信州型CSの促進を図っていきます。

### ■■お問い合わせ先■■

長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 [Tel: 026-235-7437](tel:026-235-7437) E-mail: [bunsho@pref.nagano.lg.jp](mailto:bunsho@pref.nagano.lg.jp)  
東信教育事務所生涯学習課 [Tel: 0267-31-0252](tel:0267-31-0252) 南信教育事務所生涯学習課 [Tel: 0265-76-6861](tel:0265-76-6861)  
南信教育事務所飯田事務所 [Tel: 0265-53-0460](tel:0265-53-0460) 中信教育事務所生涯学習課 [Tel: 0263-40-1977](tel:0263-40-1977)  
北信教育事務所生涯学習課 [Tel: 026-234-9552](tel:026-234-9552) 長野県生涯学習推進センター [Tel: 0263-53-8822](tel:0263-53-8822)  
生涯学習プログラムガイド集HPアドレス ▶▶ <https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/bunka/shogai/guide.html>